

# 令和6年度採用 中学校 音楽

教科(科目)	受験番号
音楽	

1 中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 音楽編(平成29年7月 文部科学省)について、(1)～(3)の問いに答えよ。

(1) 次の文章は、「第2章 音楽科の目標及び内容 第1節 音楽科の目標 1 教科の目標」の一部である。文中の A ～ D に当てはまる語句の組合せを、下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は11。

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な A を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 曲想と音楽の構造や B などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

(2) C することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。

(3) 音楽活動の楽しさを D することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

	A	B	C	D
①	感性	生活や社会	思考, 判断し, 表現	感受
②	感性	背景	音楽表現を創意工夫	体験
③	見方・考え方	生活や社会	思考, 判断し, 表現	体験
④	見方・考え方	背景	音楽表現を創意工夫	体験
⑤	見方・考え方	背景	思考, 判断し, 表現	感受

- (2) 次の文章は、「第4章 指導計画の作成と内容の取扱い 2 内容の取扱いと指導上の配慮事項 2 (3) イ」の一部である。文中の  ～  に当てはまる語句の組合せを、下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は12。

イ 生徒や学校、地域の実態などを考慮した上で、指導上の必要に応じて和楽器、弦楽器、管楽器、打楽器、, 電子楽器及び の楽器を適宜用いること。なお、3学年間を通じて 種類以上の和楽器を取り扱い、その表現活動を通して、生徒が我が国や郷土の伝統音楽のよさを味わい、 を持つことができるよう工夫すること。

	A	B	C	D
①	旋律楽器	世界の諸民族	1	愛着
②	旋律楽器	諸外国	1	関心
③	鍵盤楽器	世界の諸民族	1	愛着
④	鍵盤楽器	世界の諸民族	2	関心
⑤	鍵盤楽器	諸外国	2	関心

- (3) 次の文章は、「第4章 指導計画の作成と内容の取扱い 2 内容の取扱いと指導上の配慮事項 2 (9)」の一部である。文中の  ～  に当てはまる語句の組合せを、下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は13。

リズムとは、, 区分したりするものである。リズムに関連する学習では、拍や拍子、リズム・パターンとその反復や変化、我が国の伝統音楽に見られる様々なリズム、間などについて指導することが考えられる。

(中略)

旋律とは、種々の音高と音価をもった音を音楽的な表現意図のもとに連ねてできたである。旋律に関連する学習では、音のつながり方、旋律線のもつ方向性、フレーズ、旋律の装飾、旋律が基づくところの音階、調などについて指導することが考えられる。なお、旋律の装飾については、装飾音、コブシ、産み字、ポルタメントなど、また、音階については、我が国や諸外国の音楽に使われている様々な音階を扱うことも考えられる。

とは、音楽における音や声部の多様な関わり合いのことである。に関連する学習では、和音や和声、多声的な音楽、我が国の伝統音楽に見られる音や旋律の重なり方などについて指導することが考えられる。

(中略)

構成とは、のことである。構成に関連する学習では、反復、変化、対照などの音楽を構成する原理などについて指導することが考えられる。

(後略)

	A	B	C	D
①	一定の間隔をもって刻まれたり	まとまり	テクスチャ	音楽の組み立て方
②	一定の間隔をもって刻まれたり	まとまり	調	音楽の組み立て方
③	音楽の時間的なまとまりをつくったり	まとまり	テクスチャ	定型化された構成法
④	音楽の時間的なまとまりをつくったり	音の線的つながり	調	定型化された構成法
⑤	音楽の時間的なまとまりをつくったり	音の線的つながり	テクスチャ	音楽の組み立て方

2

箏の楽譜（縦譜）の奏法について、(1), (2)の問いに答えよ。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

※ 出典：教育芸術社「中学生の器楽」

- (1) この曲は「平調子」の調弦で演奏する。一の弦を「ニ音」とした場合、五線譜での表記を、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は14。

①	著作権保護の観点により、掲載いたしません。
②	
③	
④	
⑤	

- (2) 楽譜中の○で囲った「ㄗ巾」の「ㄗ」の奏法の説明を、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は15。

- ① 柱の左側10～12cm ぐらいの位置を、左手の人さし指と中指で押し、全音上げる。
- ② 右手で糸を弾いたあとに、左手の人さし指と中指で柱の左側10～12cm ぐらいの位置を押し、音高を全音上げる。上げたらずぐに力を緩めて音高を戻す。
- ③ 柱の左側10～12cm ぐらいの位置を、左手の人さし指と中指で押し、半音上げる。
- ④ 左手の全ての指を使って、柱から2cm 程度左側のところをしっかりとつかんでおき、右手で糸を弾いたら、すぐに柱のほうに糸を引き寄せて音高を半音程度下げる。下げたらずぐに力を緩めて音高を戻す。
- ⑤ 隣り合った2本の糸を、中指（角爪の場合は薬指側の角）でほぼ同時に弾く。人さし指で弾くこともある。

3

次の楽譜は、共通教材の「花の街」の一部である。(1), (2)の問いに答えよ。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

- (1) この楽曲の作詞者と作曲者の組合せを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は16。

	作詞者	作曲者
①	江間章子	中田喜直
②	江間章子	團伊玖磨
③	吉丸一昌	中田章
④	武島羽衣	成田為三
⑤	土井晩翠	山田耕筰

(2) この楽曲について作詞者または作曲者が述べたものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は17。

- ① 当時、私は一度も尾瀬に行ったことはなかったが、いつものように、詩を読んでいるうちにわいてきたイメージをもとにその場で書き上げた。
- ② 「(曲名)」のメロディーが日本の街々に流れていった頃、日本はいたるところ焼け跡だらけだった。まだ戦争中の地下壕に暮らしている人もたくさんいた。
- ③ これは、私の小さい時の思い出である。「(曲名)」を作ったのは大正十年で、所は北海道函館付近のトラピスト修道院においてであった。
- ④ 最近音楽は進歩発達し、よく知られている歌曲もあるが、その多くは学校唱歌である。外国の歌曲に日本語の歌詞を割り当てるので、多くは原曲の魅力を損なってしまう。
- ⑤ この題を与えられてまず第一に思い出したのは、会津若松の鶴ヶ城であった。

4 次の(1)～(3)の問いに答えよ。

(1) 青森県民謡「ホーハイ節」にみられる歌唱法を用いているものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は18。

- ① ブヌン族の合唱
- ② オルティンドー
- ③ イヌイットの喉歌
- ④ カッワーリー
- ⑤ ヨーデル

(2) 日本の三味線で糸がサワリ山に触れたような独自の音色が生み出される楽器を、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は19。

- ① シタール
- ② バラライカ
- ③ アルファー(二胡)
- ④ チャランゴ
- ⑤ サウン・ガウ

(3) 次の説明文に該当するものを、下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は20。

男声合唱を伴奏に、古代インドの叙事詩「ラーマーヤナ」の物語を演じる舞踊劇。1930年代、「ガムラン・スアラ」(声によるガムラン)と呼ばれてきた男声合唱をもとに、新たな芸能としてつくられた。

- ① パンソリ
- ② ホーミー
- ③ ケチャ
- ④ メヘテルハーネ
- ⑤ アーヴァーズ



5 雅楽について、(1)～(3)の問いに答えよ。

(1) 次の「平調 越天楽」の箏筑の楽譜について、「塩梅」と呼ばれる奏法で演奏する箇所を、下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は21。

- ① ア
- ② イ
- ③ ウ
- ④ エ
- ⑤ オ

著作権保護の観点により、  
掲載いたしません。

※ 出典：教育芸術社「中学生の音楽1」

(2) 打物の鞆鼓には「諸来」という奏法がある。この奏法について説明したものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は22。

- ① 左手のばちで最初は緩く、だんだんと細くなるように刻む。
- ② 両手のばちで交互に打つ。
- ③ 左手のばちで軽く打つ。
- ④ 右手のばちで強く打つ。
- ⑤ 右手のばちで一打する。

(3) 雅楽で扱われる用語等の説明として**正しくないもの**を、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は23。

- ① 箏篋の音色は「地上の人の声」にたとえられることがある。
- ② 序破急とは、もともとは雅楽の用語で、「序」「破」「急」と進むにつれて速度がしだいに速くなる状態をいう。
- ③ 雅楽では吹物を習うとき、まず唱歌を教わってから実際に楽器を演奏する。
- ④ 雅楽では、吹物の主奏者のことを「座頭」と呼ぶ。
- ⑤ 鈞太鼓の唱歌は「ズン」と「ドー」が使われる。

6 西洋音楽史について、(1)～(3)の問いに答えよ。

(1) 次の楽譜のピアノ作品の作曲者を、下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は24。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

※ 出典：教育出版「音楽 I Tutti + (トゥッティ プラス)」

- ① ヴェーベルン
- ② ラヴェル
- ③ ショパン
- ④ リスト
- ⑤ ライヒ

(2) (1) の楽譜と関連のある用語を、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は25。

- ① ミニマル・ミュージック
- ② ミュジック・コンクレート
- ③ トーン・クラスター
- ④ 偶然性・不確定性の音楽
- ⑤ 十二音技法

(3) 次の文章中の  ～  に当てはまる語句の組合せを、下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は26。

近代音楽の産声は、19世紀末のフランスである。 (1862～1918) は、長調・短調にとらわれない旋法的な音の動きなどを用いて新しい音の世界を展開した。また、 を発表したオーストリアのシェーンベルク (1874～1951) は、完全な無調を提唱した。ロシアの (1882～1971) は、 などの作品において規則的な拍節運動を排し、変拍子などによる自由なリズムを追求した。

	A	B	C	D
①	ドビュッシー	月に憑かれた ピエロ	ストラヴィンスキー	「春の祭典」
②	ビゼー	4分33秒	プロコフィエフ	バレエ音楽 「ロメオとジュリエット」
③	プーランク	牧神の午後への 前奏曲	ショスタコーヴィチ	交響曲 第5番ニ短調
④	サン＝サーンス	シンフォニア・ タプカーラ	リムスキー＝コルサコフ	組曲 「動物の謝肉祭」
⑤	ベルリオーズ	エクリプス	チャイコフスキー	ピアノ協奏曲 第1番

7 楽典について、(1)～(3)の問いに答えよ。

- (1) 次の総譜は、「ペール・ギュント第1組曲」より「朝」(グリーグ作曲)の冒頭部分である。譜中のアの第2クラリネットと第1ファゴットの実音の音程を、下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は27。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

- ① 長6度    ② 短6度    ③ 完全8度    ④ 完全4度    ⑤ 完全5度

(2) 次の旋律の調を，下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は28。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

- ① ハ短調
- ② 変ホ長調
- ③ 変ロ長調
- ④ ヘ長調
- ⑤ ニ短調

(3) 音楽記号・用語の奏法を示したものとして誤っているものを，次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は29。

①		奏法 →	
②		奏法 →	
③	著作権保護の観点により、 掲載いたしません。	奏法 →	著作権保護の観点により、 掲載いたしません。
④		奏法 →	
⑤		奏法 →	

8 音楽の著作権について、(1)の問いに答えよ。

(1) 次の文章ア～オについて、音楽を使用する際に許可が必要なものと不要なもの  
の組合せを、下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は30。

- ア 授業のために歌詞や楽譜をコピーする、または番組を録画する。
- イ 学校行事で使うためにCDをコピーする。
- ウ 演奏会のプログラムに歌詞を掲載する。または部活動で印刷する。
- エ 入場料と演奏者への報酬がなく、営利目的ではない演奏会で曲を演奏する。
- オ 学校のホームページで音楽を使用したり、行事の動画を公開する。

	ア	イ	ウ	エ	オ
①	必要	必要	不要	不要	不要
②	不要	必要	不要	不要	不要
③	不要	不要	必要	不要	必要
④	必要	不要	必要	必要	必要
⑤	不要	不要	必要	必要	不要



